

東北地方交通審議会

答申施策の進捗状況（フォローアップ結果）

1. マネジメントサイクルによる答申施策の進捗状況把握目的

平成17年3月24日に東北地方交通審議会から「東北地方における望ましい交通のあり方及び観光振興戦略について」と題して、2015年を目標とする東北6県の交通・観光に関する中長期的なビジョンが答申され、少子高齢化、人口減少、マイカー社会の進展といった社会の構造変化の中で、東北地方の活力を引き続き維持していくための課題及び課題解決のために、交通・観光に携わる官民の関係者が連携し取り組むべき指針が示されている。

答申に示された政策目標の実現に向けては、PDS（Plan・Do・See）マネジメント手法を用い、適宜各地域における施策の進捗状況やその効果検証、さらに検証結果を踏まえて施策の方向性や具体的な内容の見直しといったフォローアップを実施していくこととなっている。

答申後4ヶ年を経て、東北地方における交通・観光に関する現況を把握し、答申に示された施策の進捗状況をアウトカム指標を用いて分析・評価することで、次年度以降、東北地方の望ましい交通のあり方の実現及び観光振興戦略の推進に向けた施策の重点化を図る上での検討材料とするものである。

なお、観光振興戦略については、平成20年3月に策定された「東北観光基本計画」に記載された目標・施策の進捗状況の把握をもってフォローアップに代えることとする。

東北地方における望ましい交通のあり方（抜粋）

本報告のとりまとめをもって一つの作業を終えたと捉えることなく、本報告（PLAN）を出発点として、各地域において多様な関係者の連携の下で施策を実施し（DO）、さらに地域横断的に各地域における施策の進捗状況の把握や効果検証を行い（SEE） 施策体系の見直しを行うといった循環により、東北地方の望ましい交通のあり方の実現を図るべきである。

東北観光基本計画（抜粋）

前文で述べたとおり、この「東北観光基本計画」は、「観光立国推進基本計画（平成19年6月29日閣議決定）に基づいて策定したものであり、本計画に基づく目標の達成状況及び施策の推進状況を毎年度点検し、東北地方交通審議会において報告する。

「観光立国推進基本計画」は今後5年程度を見通して策定したとされており、本計画もより長期的な展望を視野に入れつつ、今後5年間を対象としている。

しかし、今後観光をめぐる諸情勢が大きく変わることが十分に考えられ、必要に応じて本計画も所用の見直しを行うものとする。

2. 答申施策の進捗状況把握方法

(1) 答申施策進捗状況の評価方法の考え方

「東北地方における望ましい交通のあり方」及び「東北観光基本計画」については、東北地方の現況課題に基づき、4つの「大目標（章に該当）」とそれらに関連する施策群が位置づけられている。そこで、以下の3段階による施策進捗状況の評価方法を検討した。

施策実施状況

- ・答申に位置づけられた各施策が確実に実施されているか。
- ・また、実施されていない場合の課題は何か。

各施策の実施状況の把握により評価、また、取り組み上の課題を整理

施策効果

- ・各施策の実施により、着実に効果が上げられているか。

定量的効果測定が可能な施策について「アウトカム指標」を設定し評価

答申目標の達成状況

- ・各施策の実施により、答申目標を達成しているか。

答申の「大目標」と施策群である「中目標（節に該当）」別に「アウトカム指標」を設定し評価

(2) 進捗状況の把握に向けたアンケート調査の実施

上記評価を行うに当たり、東北地方の交通事業者や観光関連団体、自治体等を対象として、施策の実施状況や取り組む際の課題等を把握することを目的として、アンケート調査を実施した。

【調査実施概要】

調査対象団体：95団体（交通事業者、交通施設管理団体、観光関連団体、自治体（県・仙台市）等）

調査内容：答申後の施策実施状況、取り組む上の課題、今後の方向性、施策実施による効果

調査方法：メールまたはFAXによる配布・回収

調査実施期間：平成21年2月2日配布、2月13日回収
（2月末日までの回答を分析対象とした）

回答状況：85団体より回収（回収率91.4%）

(3) 評価指標の設定

「東北地方における望ましい交通のあり方」及び「東北観光基本計画」の位置づけにもとづき、大目標、中目標、及び施策別に、進捗状況の評価するための「アウトカム指標」を設定した。なお、各施策については、定量的な数値で効果測定することが困難なものもあるため、可能なものについてのみ評価することとした。

第一編

東北地方における望ましい交通のあり方

取り組むべき施策

- 1 . 地域間・都市間交流を促進する「広域的な公共交通の整備と活用」
(答申「第2章」)
- 2 . 快適で活力を生み出す「都市交通の整備・改善」
(答申「第3章」)
- 3 . 安心して暮らし続けられる地域づくりのための「地域の足」の確保
(答申「第4章」)
- 4 . 「環境に優しい」交通体系の整備
(答申「第5章」)



1. 地域間・都市間交流を促進する「広域的な公共交通の整備と活用」

各施策とも取組みが進められており、評価指標でもおおむね上昇（改善）傾向を示し一方で、空港利用者数や宿泊者数の減少等改善が必要な項目も見られる。

表 「地域間・都市間交流を促進する広域的な

項目	内容	平成20年度の主な実施施策	
大目標		地域間・都市間交流を促進する広域的な公共交通の整備と活用	
	中目標	他の地方ブロックや海外との交流拡大のための基盤整備の着実な推進	
	施策	整備新幹線の着実な整備の推進と高速化	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線延伸に向けた走行試験の実施 ・「東北新幹線新青森延伸を契機とした二次交通のあり方検討プロジェクト」
	施策	山形新幹線及び秋田新幹線の高速化等に関する検討	<ul style="list-style-type: none"> ・山形新幹線の400系老朽化に伴う車両移行、及びE5系の導入検討
	施策	仙台空港アクセス鉄道の着実な整備の推進と仙台空港の広域利用促進策の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台空港アクセス鉄道との共同開催を含む各種イベントの実施 ・航空・空港についての出前講座を開設 ・いわき市・双葉郡～仙台空港への乗合タクシーの運行 ・アクセス鉄道利用促進の検討の設置
	施策	他の地方ブロックとを結ぶ高速バス網の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・盛岡～東京間高速バス季節便の運行 ・八戸～東京間の十和田市への直通運行の系統設定 ・新規路線の検討・計画（H21.4 開始予定）
	施策	フェリーの活用に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会設置による広報活動（「むつ湾内航路活性化推進会議」、「大間 函館航路の存続に向けた利用活性化プロジェクト」） ・秋田港発着フェリーを活用した旅行商品企画への助成
	中目標	東北地方内の都市間移動円滑化に向けた検討	
	施策	鉄道在来線の高速化等の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県鉄道活性化対策協議会による検討
	施策	東北地方内の都市間を結ぶ高速バス網の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台～平泉の開設 ・仙台まちなかバスマップの発行による高速バスの利用促進

ているが、交流人口は減少傾向にある。

公共交通の整備と活用」に関する施策進捗状況（その1）

評価結果（赤字：上昇(改善)、青字：下降(悪化)）				21年度の実施の方向性	
アウトカム指標	平 17	最新年	傾向		
他ブロック、海外から、及び東北地方内の交流人口(百万人) (出典)旅客地域流動調査、国際航空旅客動態調査	5,860	5,965 (H18)	増加	<p>新幹線については、延伸に向けた準備を着実に進める。</p> <p>仙台空港については、仙台空港空港アクセス鉄道の利用促進を図るとともに、他県からの利用客を増やす方策を検討する。</p> <p>高速バスについては、乗継ぎ円滑化等、一層の利用促進を図る。</p>	
他ブロック、海外からの交流人口(百万人) (出典)旅客地域流動調査、国際航空旅客動態調査	41	44 (H18)	増加		
地域間所要時間： (分)	東京～青森	239	239(H20)		横ばい
	東京～山形	150	150(H20)		横ばい
	東京～秋田	230	230(H20)		横ばい
(出典)各年時刻表					
仙台空港 宮城県外利用者数 (全国利用者数) (千人)	42 (84)	41 (89) (H18)	減少		
(出典)国際航空旅客動態調査					
他ブロックと東北地方間の高速バス利用者数(千人) (出典)東北運輸局	1,878	1,950 (H19)	増加		
フェリー利用者数(千人) (出典)東北運輸局	3,537	3,688 (H19)	増加		
東北地方内の交流人口(百万人) (出典)旅客地域流動調査	5,819	5,921 (H18)	増加	乗継ぎ円滑化等、高速バスの一層の利用促進を図る。	
鉄道利用者数(百万人) (出典)東北運輸局	267	267(H19)	横ばい		
東北地方内の高速バス利用者数(千人) (出典)東北運輸局	6,424	6,696 (H19)	増加		

表 「地域間・都市間交流を促進する広域的な

項目	内容	平成20年度の主な実施施策	
大目標	中目標	広域的な公共交通の拠点と目的地を結ぶ公共交通の需要に応じた供給形態の見直し	-
	施策	ルート、ダイヤの見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・航空機・JR発着に合わせたダイヤ設定 ・宿泊施設や観光地への路線バス運行 ・高速バス東京便における南相馬ルート延長
	施策	乗合タクシーの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・山形空港アクセスバスの乗合タクシーへの変更検討 ・病院連絡バス
	中目標	交流人口拡大に向けた多様な関係者が一体となった取り組みの推進	-
	施策	公共交通相互の乗り継ぎの円滑化や利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・IGR とバスの乗り継ぎ企画乗車券の実証実験 ・主要バス停における外国語による音声案内
	施策	マイカー等によるアクセスの改善	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体・商業施設と連携したパーク＆ライドの実施 ・庄内観光物産館の駐車場整備によるパーク＆バスライドの利用促進
	施策	多様な関係者が一体となった効果的・効率的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・あおり交通ナビ運営協議会の設置 ・「市民とともに考える八戸バスマップ作成プロジェクト」実施
	施策	多様な関係者が一体となった魅力ある旅行商品の造成	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地・宿泊施設・交通事業者による「燃える奥津軽」 ・IGR 定期券所有者への優待制度

公共交通の整備と活用」に関する施策進捗状況（その2）

評価結果（赤字：上昇(改善)、青字：下降(悪化)）				21年度の取組みの方向性
アウトカム指標	平 17	最新年	傾向	
主要駅利用者数(百万人)	51.8	52.4 (H19)	増加	広域的な公共交通の拠点と目的地を結ぶ公共交通についての情報発信の充実を図る。
(出典)JR東日本				
空港利用者数(千人)	8,009	7,833 (H19)	減少	
(出典)東北運輸局				
-	-	-	-	
乗合タクシー運行系統数 (導入市町村数)	401 (-)	559(H20) (85)(H20)	増加	地域ごとの多様な取組みに対して、地域公共交通活性化・再生総合事業の活用等により、引き続き支援を行う。
(出典)「数字で見る自動車」				
他ブロック、海外から、及び東北地方内の 交流人口(百万人)	5,860	5,965 (H18)	増加	
(出典)旅客地域流動調査、国際航空旅客動態調査				
-	-	-	-	
P&R 駅数	37	72(H20)	増加	
(出典)平成20年度アンケート調査				
P&BR バス停数	-	34(H20)	-	
(出典)東北運輸局資料				
-	-	-	-	
東北6県の宿泊者数(百万人)	-	29.1(H19)	-	
(出典)宿泊旅行統計				

宿泊者数については、宿泊統計の整備に伴い、平成18年までと平成19年以降でデータが連続しないため、平成19年のみとした。

2. 快適で活力を生み出す都市交通の整備・改善

各施策とも取組みが進められ、施策のアウトカム指標では改善傾向が見られるものの

表 「快適で活力を生み出す都市交通

項目	内容	平成20年度の主な実施施策
大目標	快適で活力を生み出す都市交通の整備・改善	-
中目標	都市鉄道の機能強化	-
	施策 仙台市地下鉄東西線の着実な整備と沿線まちづくりの推進 施策 新駅設置などによる既存の鉄道の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・東西線沿線の一体的整備を目的とした市街地再開発準備組合や、住民主体によるまちづくり協議会の設立 ・福島県でのバス・鉄道利用促進デーの設定（毎月3日）及び事業者との連携による企画切符の販売 ・新駅整備への助成事業である「コミュニティ・レール事業」の制度化検討（H21より制度化）
中目標	バス利用環境の改善	-
	施策 定時制確保・速達性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブレコーダー設置についての検討 ・既存のバスレーン、PTPSの活用
	施策 使いやすいバス路線への改善	<ul style="list-style-type: none"> ・弘前・五所川原・黒石市内、八戸、仙台市長町、大館・能代・由利本荘市内、盛岡市内で循環バスを継続運行
	施策 その他の利便性向上策	<ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステムの活用 ・パケット通信によるバスロケーションシステムの導入検討 ・「るるっぷ八戸」バス到着予測サービスの実施
中目標	都市交通改善のためのタクシーの活用	-
	施策 需要の少ない時間帯や地域の足としてのタクシーの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バス運行終了後の地域の足として乗合タクシーを運行 ・「国分町3Way方式プロジェクト」の実施
	施策 福祉輸送分野におけるタクシーの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護事業者認定を取得の上運行 ・寝台車、車椅子、回転シート車等の導入による運行

大目標・中目標の指標については下降（悪化）傾向となっている。

の整備・改善」に関する施策進捗状況（その１）

評価結果（赤字：上昇(改善)、青字：下降(悪化)）				21年度の取組みの方向性
アウトカム指標	平 17	最新年	傾向	
都市部における公共交通利用者数（百万人） （出典）東北運輸局、JR東日本	312	303 (H19)	減少	仙台市地下鉄東西線の整備を支援する。 鉄道の利用促進に向けた地域の取組みに対しては、コミュニティ・レール事業の活用等により、引き続き支援を行う。
都市部における鉄道利用者数（百万人） （出典）東北運輸局、JR東日本	107	106 (H19)	減少	
-	-	-	-	
-	-	-	-	
都市部におけるバス利用者数（百万人） （出典）東北運輸局	147	143	減少	バスの利用環境改善に向けた地域の取組みに対して、地域公共交通活性化・再生総合事業の活用等により、引き続き支援を行う。
PTPS 導入地域数 （出典）平成20年度アンケート	3	3(H20)	横ばい	
ゾーンバス導入地域数 （出典）平成20年度アンケート	1	2(H20)	増加	
パスロケ導入系統数 （導入事業者数） （出典）東北運輸局	336 (14)	1,207 (15) (H20)	増加	
都市部におけるタクシー利用者数（百万人） （出典）東北運輸局	58	55 (H19)	減少	乗合タクシーの活用等の地域の取組みに対して、地域公共交通活性化・再生総合事業の活用等により、引き続き支援を行う。
-	-	-	-	
介護資格取得数（人） （出典）東北運輸局	651 (H16.3.31)	-	-	

表 「快適で活力を生み出す都市交通」

項目		内容	平成20年度の主な実施施策
	中目標	交通結節点の改善による乗り継ぎ利便性の向上とまちの賑わいの創出	-
	施策	乗り継ぎ利便性の向上	・乗り継ぎ情報を検索できる「あおもり交通ナビ」を開設 ・仙台まるごとバス運営協議会による周遊乗車券の販売
	施策	交通結節点を活用したまちの賑わいの創出	・盛岡市における「減クルマ・チャレンジウィーク」の実施 ・バス利用シンポジウムの開催
	中目標	新サービス導入による公共交通の活性化	-
	施策	運賃の弾力化、乗車券相互利用等の新サービスの導入	・「八戸えんじょいカード」、「岩手・三陸フリーきっぷ」、「津軽フリーパス」等のフリーパスの販売 ・南部バス（八戸線）における八戸市交通部との共通乗車券
	施策	情報通信技術を活用した新サービスの導入促進	・HP に各駅のページを設置。また携帯電話での運行情報が確認可能 ・雪ナビシステムの実施
	中目標	バリアフリー化の推進	-
	施策	鉄道駅等におけるバリアフリー化	・交通施設バリアフリー化設備整備費補助金を活用して整備を推進。本年度については、「古川・天童・金谷川・陸前高砂」
	施策	低床式バス車両の導入	・公共交通移動円滑化設備整備費補助金を活用し、ノンステップバスの導入等を推進。
	施策	「心のバリアフリー」の推進等	・バリアフリー教室の実施。基本構想策定支援プロモーター（4市町）。基本構想策定支援セミナー（1回）

の整備・改善」に関する施策進捗状況（その2）

評価結果（赤字：上昇(改善)、青字：下降(悪化)）				21年度の方組みの方向性
アウトカム指標	平 17	最新年	傾向	
都市部における公共交通利用者数(百万人) (出典)東北運輸局	312	303 (H19)	減少	交通機関相互の乗継ぎ円滑化に向けた地域の方組みに対して、地域公共交通活性化・再生総合事業の活用等により、引き続き支援を行う。
-	-	-	-	
-	-	-	-	
都市部における公共交通利用者数(百万人) (出典)東北運輸局	312	303 (H19)	減少	新サービス導入による公共交通活性化に向けた地域の方組みに対して、地域公共交通活性化・再生総合事業の活用等により、引き続き支援を行う。
フリーパス等導入種類数 (出典)平成20年度アンケート	11	15 (H20)	増加	
ICカード導入エリア数 (出典)東北運輸局	2	2 (H20)	横ばい	
都市部における公共交通利用者数(百万人) (出典)東北運輸局	312	303 (H19)	減少	鉄道駅等のバリアフリー化を推進するとともに、バリアフリー教室の開催等により、バリアフリー化促進に対する理解を図る。
段差解消達成率(%) (出典)東北運輸局	66	75 (H19)	増加	
乗合バスのバリアフリー化率(%) (出典)東北運輸局	11.6	13.0 (H19)	増加	
-	-	-	-	

3. 安心して暮らし続けられる地域のための「地域の足」の確保

各施策とも取組みが進められているが、利用者数は減少傾向にある。
一方で、デマンド交通の導入地域数は増加傾向にある。

表 「安心して暮らし続けられる地域のため

項目	内容	平成20年度の主な実施施策
大目標	安心して暮らし続けられる地域のための「地域の足」の確保	-
中目標	地域と一体となった公共交通のあり方の検討	-
中目標	地方鉄道、地方バス、離島生活航路の改善	-
施策	地方鉄道の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョイフルトレイン等のイベント列車の運行 ・住民対象に需要喚起のためのシンポジウムを開催 ・「山形鉄道フラワー長井線活性化プロジェクト」の実施 ・地域公共交通活性化・再生総合事業による支援
施策	地方バスの改善	<ul style="list-style-type: none"> ・十和田市スクールバスと郊外路線の一元化 ・各団体や学校等と協議し利用時間帯を最適化
施策	離島生活航路の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・「むつ湾航路活性化推進会議」による活動 ・島の魅力について、若者からなる「とびしまレポーター」がネット上で情報発信。
中目標	新たな「地域の足」の開発と普及	-
施策	バスとタクシーの中間形態の導入～デマンド型乗合タクシーの普及促進～	<ul style="list-style-type: none"> ・十和田市地域公共交通会議における実施計画の検討 ・花巻市、北上市、遠野市、一戸町、遊佐・河北・庄内・三川・藤島・白鷹町等をはじめとする各地での運行継続
施策	新たな「地域の足」の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・南部町多目的バスの試験運行 ・福祉有償運送、過疎地有償運送の実施

の「地域の足」の確保」に関する施策進捗状況

評価結果 (赤字 : 上昇(改善)、青字 : 下降(悪化))				21年度の取組みの方向性
アウトカム指標	平 17	最新年	傾向	
地方部における公共交通（鉄道+バス+タクシー）利用者数(百万人) (出典)東北運輸局、JR東日本	256	250 (H19)	減少	公共交通の活性化・再生に関して、研修の開催による地方自治体担当者等の知識向上を図るとともに、シンポジウムの開催により、住民も含めた意識の醸成を図る。 地方鉄道、地方バス、離島生活航路等の改善に関する地域の取組みに対して、地域公共交通活性化・再生総合事業の活用等により、引き続き支援を行う。 新たな「地域の足」の導入に向けた地域の取組みに対して、地域公共交通活性化・再生総合事業の活用等により、引き続き支援を行う。
地域公共交通総合連携計画策定数 (出典)東北運輸局	-	6 (H20)	-	
地方部における公共交通（鉄道+バス）利用者数(百万人) (出典)東北運輸局、JR東日本	192	189 (H19)	減少	
地方鉄道利用者数（百万人） (出典)東北運輸局、JR東日本	160	161 (H19)	増加	
地方バス利用者数（百万人） (出典)東北運輸局	32	28 (H19)	減少	
離島生活航路利用者数（千人） (出典)東北運輸局	1,243	1,198 (H19)	減少	
地方部におけるタクシー利用者数（百万人） (出典)東北運輸局	64	60 (H19)	減少	
デマンド交通導入地域数 (出典)平成20年度アンケート調査	12	37 (H20)	増加	
過疎地有償運送導入市町村数 (出典)東北運輸局	4	4 (H20)	横ばい	

4. 環境にやさしい交通体系の整備

各施策とも取組みが進められており、評価指標でもおおむね上昇（改善）傾向を示し一方で、低公害車量の燃料供給箇所の整備が進められておらず、よって普及率は上昇

表 「環境にやさしい交通体系

項目	内容	平成20年度の主な実施施策	
大目標	環境にやさしい交通体系の整備	-	
	中目標	車両の低公害化の促進	-
	施策	低公害車両の普及促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッドバス車両の購入 ・国交省低公害車普及促進等対策に補助金交付制度の活用を検討 ・ふくしま環境・エネルギーフェア出展による普及啓発
	施策	低公害車両の燃料供給箇所の整備	-
	施策	環境にやさしい鉄道車両の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・小型ディーゼルエンジンと大容量逐電システムによる動力強調システム入れ替え専用機関車の開発に着手 ・ハイブリッドディーゼルカーの導入検討
	中目標	効率的で環境にやさしい物流体系の整備	-
	施策	高度かつ効率的な物流体系の整備	・福島県グリーン物流推進研究会開催、企業訪問の実施
	施策	モーダルシフトの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・海上コンテナ貨物の利用促進のためのポートセールスの実施 ・RORO 船内買定期航路誘致に向けた物流調査の実施
	施策	静脈物流システムの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・東室蘭へ専用コンテナによる PCB 輸送を開始 ・リサイクルポートである酒田港を PR するセミナー等の実施
	中目標	旅客部門の環境対策	-
	施策	ノーマイカーデーの実施等	<ul style="list-style-type: none"> ・「減クルマ・チャレンジウィーク」の実施 ・毎月合計1週間ほどを通勤時の「マイカー自粛の日」として設定 ・月1回以上のエコ通勤デー実施及び情報発信
	施策	観光地等におけるマイカー規制の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・奥入瀬溪流マイカー規制実施 ・ゴールデンウィークの八木山・川内地区において、一方通行規制を実施 ・シャトルバスの運行
	中目標	環境負荷の小さい交通体系の構築	-
	施策	グリーン経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・エコロジー推進委員会を継続実施 ・協会会員を対象に講習会を実施
施策	環境の保全・再生・創造対策の実施	・ESTモデル事業（八戸市継続）	

ている。
傾向にあるものの全国水準にまで達していない。

の整備」に関する施策進捗状況

評価結果 (赤字 : 上昇(改善)、青字 : 下降(悪化))				21年度の取組みの方向性	
アウトカム指標	平 17	最新年	傾向		
東北地方内における二酸化炭素排出量 (万 t -CO ₂ /年) (推計値) (出典) 道路交通センサス(一般交通量調査)に基づき算定	1,609	-	-	低公害車普及促進対策補助支援制度等を活用して、低公害車の更なる導入促進に向けた支援を行う。	
低公害車両の普及率(自動車)(%) (出典) 東北運輸局	20.6	29.7(H19)	増加		
低公害車普及率(%) (出典) 東北運輸局	20.6	29.7(H19)	増加		
低公害車両の燃料補給箇所数 (出典) 社団法人日本ガス協会	5	5(H19)	横ばい		
低公害車両導入割合(%) (出典) 平成20年度アンケート	21.8	33.7	増加		
物流車両の二酸化炭素排出量(万 t -CO ₂ /年) (推計値) (出典) 道路交通センサス(一般交通量調査)に基づき算定	644	-	-		引き続き、「東北グリーン物流パートナーシップ推進協議会」の開催等により、モーダルシフト等の荷主と物流事業者が一体となった取組みを推進する。
物流における自動車分担率(%) (出典) 貨物地域流動調査	94.1	93.5(H18)	減少		
リサイクル化率(%) (建設副産物) (出典) 建設副産物実態調査	93.4	-	-		
乗用車の二酸化炭素排出量(万 t -CO ₂ /年) (推計値) (出典) 道路交通センサス(一般交通量調査)に基づき算定	425	-	-		
施策実施による二酸化炭素排出削減量(t-CO ₂ /年) (出典) 東北運輸局	107	13,667(H19)	減少		引き続き、エコ通勤の導入促進を図るとともに、「交通エコロジー教室」の開催等により、環境負荷の小さい交通を利用する意識の醸成を図る。
認証事業所数 (出典) 交通エコロジー・モビリティ財団	135	350(H20)	増加		
ESTモデル都市数 (出典) 東北運輸局	1	2(H19)	増加		

低公害車両 電車 : 回生ブレーキやVVVFインバータ搭載車両
気動車 : 低燃費エンジン搭載車両

第二編

東北観光基本計画

取り組むべき施策

- 1 . 競争力の高い魅力ある観光地の整備
(答申「第4章 1」)
- 2 . 観光産業の競争力強化と人材の育成
(答申「第4章 2」)
- 3 . 外国人観光客の来訪及び国際相互交流の促進
(答申「第4章 3」)
- 4 . 東北地方への来訪促進のための環境整備
(答申「第4章 4」)



東北地方の観光に関する目標の達成状況

「東北観光基本計画」に位置づけられた5つの目標に対する達成状況は、下表に示すとおりとなった。

表 東北地方の目標とその達成状況

目標	基準値	平成19年	平成20年	目標値
東北6県における訪日外国人旅行者数	平成18年 <u>35.3万人</u>	40.2万人	-	平成22年 <u>50万人</u>
東北6県における国際会議の開催件数	平成17年 <u>4件</u>	2件	-	平成23年 <u>5割以上増</u>
東北6県における宿泊者数 ¹	平成18年 <u>3,174万人</u> (2,884万人 ²)	2,913万人	-	平成22年 <u>3,600万人</u> (3,276万人 ³)
東北6県における観光旅行消費額 ⁴	平成18年度 <u>2兆円</u> (1.2兆円)	- (1.2兆円)	-	平成22年度 <u>2.3兆円</u>
東北6県における外国語対応が可能な「ビジット・ジャパン案内所」	平成19年 <u>32箇所</u>	32箇所	33箇所	平成23年 <u>39箇所</u>

- 1 平成18年は各県観光統計、平成19年は国土交通省観光経済課「宿泊旅行統計」による。なお、目標値(平成22年)は平成18年までの取得方法に基づき設定されている。
- 2 山形県及び福島県では、平成19年から「宿泊旅行統計」へ移行し従来の統計手法によるデータ取得ができないため、従来の統計手法で得られた他の4県の平成18年と平成19年を比較し算出した比率を基にした推計値である。
- 3 平成18年の基準値と2の推計値とを比較し、得られた比率を基にした推計値である。
- 4 観光旅行消費額について平成19年は山形県及び福島県のデータがないため平成18年と比較できない。()内は山形、福島を除く4県分合計。また、各県の算出方法が統一されていないため、参考値である。

1. 競争力の高い魅力ある観光地の整備

各施策とも取組みが進められている。

表 「競争力の高い魅力ある観光地

項目	内容	平成20年度の主な実施施策
大目標	競争力の高い魅力ある観光地の整備	-
中目標	競争力の高い魅力ある観光地の整備	-
	施策 「東北ならではの」の観光魅力の発揮	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化・伝統を物語風にまとめた「東北ものがたり」の発行、テーマ別ルート の提案 ・福島県におけるテーマ性のある旅行商品のモニターツアー
	施策 「東北観光ブランド」の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・VJC 地方連携事業におけるVJCロゴマークの活用 ・「仙台・宮城DC」、「いわて・平泉観光キャンペーン」の展開
	施策 「地域づくり」の視点からの観光振興	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の秋田路キャンペーンにおける施設割引の実施 ・いわて・平泉観光キャンペーンにおける「おもてなしシール」等の実施
	施策 「連携」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・青森市・十和田市・八戸市を軸とした観光圏、羽越観光圏形成への検討 ・「観光圏」周知のためのシンポジウムの開催
施策	東北地方の観光地全体のレベルアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・東北鉄道協会における「観光客誘致推進会議」 ・東北各地での接遇講習会やインバウンドセミナーの実施
中目標	観光資源の活用	-
	施策 文化財・歴史的風土	<ul style="list-style-type: none"> ・平泉「語り部タクシー」の実施 ・外国語併記施設案内整備事業、歴史街道みち整備事業
	施策 優れた自然の風景地	<ul style="list-style-type: none"> ・奥入瀬、駒ヶ岳等におけるマイカー規制の実施 ・遊歩道の適切な整備・管理
	施策 良好な景観	<ul style="list-style-type: none"> ・みちのくおとぎ街道スタンプラリーの実施 ・喜多方市(蔵)、下郷町(大内宿)、平川市尾上(蔵)、横手市増田地区(蔵)における活用
	施策 温泉その他の文化・産業等	<ul style="list-style-type: none"> ・温泉街湯めぐり手形の活用 ・「手ぶらでスキー&温泉」の実施

の整備」に関する施策進捗状況（その1）

評価結果（赤字：上昇(改善)、青字：下降(悪化)）				21年度の取組みの方向性	
アウトカム指標					
	平 19	平 20	傾向		
東北6県における宿泊者数(百万人) (出典)宿泊旅行統計	29.1	-	-		
東北6県の観光旅行消費額(億円) (出典)各県観光統計(1)	12,174	-	-		
東北6県における入込客数(百万人) (出典)各県観光統計	287	-	-		
仙台から観光地までの所要時間(分)	白神山地(西目屋村)	226	226		横ばい
	十和田湖(十和田市)	121	121		横ばい
	北山崎(田野畑)	223	223		横ばい
	松島(松島海岸)	24	24		横ばい
	出羽三山神社(羽黒山山頂)	238	238		横ばい
	尾瀬ヶ原	277	277		横ばい
(出典)各年時刻表					
東北6県の観光旅行消費額(億円) (出典)各県観光統計(1)	12,174	-	-	観光客の来訪・滞在を促進する観光圏整備事業や着地型のニューツーリズム創出・流通促進事業等を通じ、魅力ある観光地の整備を推進する。	
-	-	-	-		
-	-	-	-		
仙台まるごとパス等利用者数(人) (出典)平成20年度アンケート調査	18,517	16,039 (12月まで)	-		
観光圏認定数 (出典)東北運輸局	-	3	-		
-	-	-	-		
行ってみたい温泉地ランキング数 (出典)数字で見る観光	11	-	-		
印象のよかった温泉地ランキング数 (出典)数字で見る観光	11	-	-		
につぼんの温泉100選へのランキング数 (出典)株式会社観光経済新聞社	16	19	増加		
東北6県の入込客数(百万人) (出典)各県観光統計	287	-	-		
東北6県の宿泊者数(百万人) (出典)宿泊旅行統計	29.1	-	-		
登録ホテル・旅館数 (出典)観光庁	343	-	-		
-	-	-	-		
-	-	-	-		
-	-	-	-		
-	-	-	-		

1：山形県及び福島県は平成18年度までのデータのため、山形県、福島県を除く4県の合計を示す。

表 「競争力の高い魅力ある観光地

項目		内容	平成20年度の主な実施施策
大目標	中目標	交通施設の総合的な整備	-
	施策	高速交通体系の充実・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・三陸鉄道からJR線直通列車の運行による新幹線への接続
	施策	高速交通体系以外の旅行者の移動手段の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・バス案内システム端末、携帯用端末設置 ・運行情報について携帯対応版の設置 ・観光型乗合タクシーの運行 ・「平泉における渋滞緩和促進プロジェクト」実施
	施策	各交通手段における「もてなしの心」の発揮	<ul style="list-style-type: none"> ・リゾート「みのり」の運行 ・「お座敷列車」の運行

の整備」に関する施策進捗状況（その2）

評価結果（赤字：上昇(改善)、青字：下降(悪化)）				21年度の取組みの 方向性	
アウトカム指標		平 19	平 20		傾向
東北6県における入込客数（百万人）		287	-		-
（出典）各県観光統計					
各県主要ターミナルのバリアー化率		75.4	-	-	
（出典）東北運輸局					
他7ブロック （東京）か ら観光地 までの所 要時間 （分）	白神山地(西目屋村)	322	322	横ばい	
	十和田湖(十和田市)	216	216	横ばい	
	北山崎(田野畑)	319	319	横ばい	
	松島(松島海岸)	120	120	横ばい	
	出羽三山神社(羽黒山山頂)	320	320	横ばい	
	尾瀬ヶ原	255	255	横ばい	
（出典）各年時刻表					
仙台から 観光地ま での所要 時間 （分）	白神山地(西目屋村)	226	226	横ばい	
	十和田湖(十和田市)	121	121	横ばい	
	北山崎(田野畑)	223	223	横ばい	
	松島(松島海岸)	24	24	横ばい	
	出羽三山神社(羽黒山山頂)	238	238	横ばい	
	尾瀬ヶ原	277	277	横ばい	
（出典）各年時刻表					
新規高速交通機関（新幹線等）整備率		71.8	87.1	増加	
（出典）青森県資料					
東北の各空港からの就航路線数、便数		237	232	減少	
（出典）各年時刻表					
各県主要ターミナルのバリアフリー化率 （%）		75.4	-	-	
（出典）東北運輸局					
仙台から観 光地までの 所要時間 （分）	白神山地(西目屋村)	226	226	横ばい	
	十和田湖(十和田市)	121	121	横ばい	
	北山崎(田野畑)	223	223	横ばい	
	松島(松島海岸)	24	24	横ばい	
	出羽三山神社(羽黒山山頂)	238	238	横ばい	
	尾瀬ヶ原	277	277	横ばい	
（出典）各年時刻表					
		-	-	-	

多様な移動手段の確保のため、観光事業者、運輸事業者等と連携し、実証事業等による継続的な試みを支援する。

2. 観光産業の競争力強化と人材の育成

各施策とも取組みが進められている。

表 「観光産業の競争力強化と

項目	内容	平成20年度の主な実施施策		
大目標	観光産業の競争力強化と人材の育成	-		
	中目標	観光産業の競争力強化	-	
		施策	マスコミ・メディア効果、「口コミ」情報の活用、リピーター需要の重視	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の旅行博に出展、テレビ番組放映や雑誌掲載により着地型商品をPR ・若い女性層を対象とした全国紙にタイアップ記事を掲載 ・横浜で開催された旅フェアに参加 ・仙台・宮城デスティネーションキャンペーンによるPR及びイベントの開催
		施策	「マーケティング」「事業評価」に基づく事業設計	<ul style="list-style-type: none"> ・「台湾プロモーション」、「ITF2008」の際にアンケートを実施 ・地域と地域資源を活用したモニターツアーの実施による調査、分析 ・海外（台湾、韓国）個人旅行ニーズ調査を実施
		施策	国内旅行における西日本・首都圏からの誘客促進	<ul style="list-style-type: none"> ・北東北三県連携による旅行エージェンツ招請事業の実施 ・日観協関東支部との共催により、大宮駅にて「夏の海と山観光展」、「冬・早春観光展」を開催
		施策	教育旅行の誘致促進	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道札幌、函館で修学旅行誘致説明会の実施 ・地元と連携し、農林漁業メニューの充実を図り、学校やエージェンツにセールスを展開
		施策	国内旅行における小グループ化の進展に伴う旅行ニーズ変化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の要望に応じアドバイザーを派遣する観光客受け入れ体制づくり支援を実施。 ・歩いて楽しむ仙台の街の魅力を発信するため「まち歩きマップ」を作成・配布
		施策	季節波動の大きさを解消するための冬季の観光振興対策の強化とハルシーズン対策	<ul style="list-style-type: none"> ・シドニーにおけるスキー客の誘致に向けたプロモーションの実施 ・3箇所（安比、蔵王、猪苗代）の商品化 ・NEXCO との連携によるリフト券込みの「ドラ旅」を企画・販売
		施策	旅行商品の造成	<ul style="list-style-type: none"> ・「花まるっモニターツアー」として地元の自然・文化・食材を取り入れたツアーを8本催行 ・「仙台・宮城 DC」と連携し独自イベント「食酒まつり IN 松島」を実施
		施策	宿泊産業の競争力強化	<ul style="list-style-type: none"> ・旅館客室流動の効率化・高度化実証実験
	中目標	人材の育成	-	
		施策	大学等高等教育機関	<ul style="list-style-type: none"> ・石巻専修大学経営学部観光コースにOBを特命教授として派遣し大学で特別講義を実施。 ・会津高等技術専門校に観光サービス科を設置し、人材育成 ・秋田県のノースアジア大学に観光学科を設置。
		施策	ボランティアガイド等	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくしま通検定、米沢検定 等実施 ・山形県ボランティアガイド連絡会等による研修
		施策	観光の担い手	<ul style="list-style-type: none"> ・いわておもてなしマイスター認定制度によるリーダー的人材の育成 ・秋田国際教養大学との連携による語学研修旅行開発 ・NPO法人による大鰐温泉活性化及び担い手育成 ・観光カリスマ塾の開催

人材の育成」に関する施策進捗状況

評価結果（赤字：上昇(改善)、青字：下降(悪化)）				21年度の取組みの方向性	
アウトカム指標					
	平 19	平 20	傾向		
東北6県における宿泊者数(百万人) (出典)宿泊旅行統計	29.1	-	-	東北観光推進機構を中心に連携して東北のイメージの浸透、情報発信・PRに取り組む。また、多様化する観光客ニーズに対応した旅行商品等の開発、ニューツーリズム創出等を推進する。	
東北6県入込客数 (出典)各県観光統計	287	-	-		
着地型旅行商品造成数 (出典)平成20年度アンケート	9	33	増加		
-	-	-	-		
-	-	-	-		
教育旅行者数(千人) (出典)平成20年度アンケート	10	13	増加		
-	-	-	-		
冬季来訪率(宿泊人数の月別構成比) (出典)宿泊旅行統計	18.7	-	-		
着地型旅行商品造成数 (出典)平成20年度アンケート	9	33	増加		
宿泊者数(百万人) (出典)宿泊旅行統計	29.1	-	-		
東北6県の通訳案内士数 (延登録者数)(人) (出典)観光庁資料	159	182	増加		観光産業を担う人材育成を図るため「観光カリスマ塾」を実施する。
-	-	-	-		
-	-	-	-		
-	-	-	-		

3. 外国人観光客の来訪及び国際相互交流の促進

各施策とも取組みが進められ、多くの指標において上昇（改善）傾向となっている。

表 「外国人観光客の来訪及び

項目	内容	平成20年度の主な実施施策
大目標	外国人観光客の来訪及び国際相互交流の促進	-
中目標	外国人観光客の来訪促進	-
施策	海外からの「東北ツアー」の造成に向けた取組の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾、韓国での観光博への出展、及びテレビ、雑誌、新聞におけるPRの実施 ・タイ、台湾等のメディア等の招請を実施 ・VJC 地方連携事業
施策	海外の一般消費者に対する情報提供・予約等の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・HP やまがたへの多言語対応（英、中、韓）
施策	外国人観光客が旅行しやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語併記観光案内板整備への支援 ・観光施設従業員を対象に中国語、韓国語の学習会を開催 ・電話による通訳サポートサービスを市内の街角案内所へ拡充 ・仙台駅、盛岡駅でのひとり歩き点検隊の実施
施策	国際会議等の誘致・開催	<ul style="list-style-type: none"> ・APEC の大臣会合の誘致への取組 ・東北大学との連携（東北国際学会）
中目標	国際相互交流の促進	-
施策	世界に開かれた観光交流	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県観光物産交流協会と台湾観光協会との間で福島・台湾観光友好協定を締結 ・秋田・ソウル国際線を利用した韓国との交流を促進するため、民間等の交流活動への助成を実施
施策	姉妹都市連携	
施策	訪日教育旅行	<ul style="list-style-type: none"> ・シンガポールの教育旅行を仙台市内中学校へ受け入れ ・韓国、中国、台湾からの教育旅行関係者の招請事業、県内学校との交流事業

国際相互交流の促進」に関する施策進捗状況

評価結果（赤字：上昇(改善)、青字：下降(悪化)）				21年度の取組みの方向性	
アウトカム指標					
	平 19	平 20	傾向		
東北6県における訪日外国人旅行者数（万人） （出典）東北運輸局（推計値）	40.2	-	-		
東北6県における国際会議開催件数 （出典）日本政府観光局（JNTO）	2	-	-		
東北6県における外国語対応が可能な「ビジット・ジャパン案内所」設置箇所数 （出典）東北運輸局	32	33	増加		
東北を訪れる外国人旅行者数（万人） （出典）東北運輸局（推計値）	全体	40.2	-	東北観光推進機構をはじめ多くの観光関係者等と連携し引き続きVJC事業の取組みを推進する。あわせて、V案内所の増設、外国語併記案内板の整備、「ひとり歩き点検隊」の実施等により、外国人観光客を受け入れる環境整備を推進する。	
	うち韓国	13.5	-		
	うち中国	4.6	-		
-	-	-	-		
-	-	-	-		
V案内所設置箇所数 （出典）東北運輸局	32	33	増加		
国際会議開催件数 （出典）日本政府観光局（JNTO）	2	-	-		
東北地方居住者の渡航率（出国率） （出典）出入国管理統計、住民基本台帳より東北運輸局推計	4.9	-	-		民間が取組むVWC事業等アウトバウンドの推進に資する事業を支援するとともに、VJC地方連携事業等による訪日教育旅行の誘致促進を図る。
パスポート所持率 （出典）「旅券統計」外務省領事局旅券課	14.3	13.9	減少		
姉妹・友好都市数 （出典）日本の姉妹都市自治体一覧	181	182	増加		
教育旅行件数、旅行者数 （出典）東北運輸局	旅行件数	31	27	減少	
	旅行者数	1280	919	減少	

4. 東北地方への来訪促進のための環境整備

各施策とも取組みが進められ、各指標値は上昇（改善）または横ばいとなっている。

表 「東北地方への来訪促進のための環境

項目	内容	平成20年度の主な実施施策	
大目標	東北地方への来訪促進のための環境整備	-	
中目標	観光地における環境及び良好な景観の保全	-	
	施策	環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・マイ箸やごみの持ち帰りなど企画で提案 ・猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群の水環境の保全に関する各種事業を実施
	施策	良好な景観の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・山形県屋外広告物条例規則による設置規制・撤去、上山市の武家屋敷通りの板塀整備 ・杜の都の風土をはぐくむ風景条例
	中目標	観光旅行者の利便の増進	-
施策	情報発信技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・東北各県、観光協会と観光情報システム会議を開催 ・観光情報の提供、観光情報データベースの構築 ・ネット予約実践セミナーの開催 ・まちめぐりナビプロジェクトの実施 	
	国内旅行における中高年齢層の需要拡大に伴う対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・SA/PAのバリアフリー化（スロープ、身体障害者用トイレの設置等）を整備 ・トラベルサポーター研修会の開催 ・岩手大学との共同による「シニアカレッジ」の実施 	

整備」に関する施策進捗状況（その１）

評価結果（ 赤字：上昇(改善)、青字：下降(悪化) ）				21年度の取組みの方向性
アウトカム指標	平 19	平 20	傾向	
東北6県における宿泊者数（百万人） （出典）宿泊旅行統計	29.1	-	-	
東北6県における外国語対応が可能な「ピジット・ジャパン案内所」設置箇所数 （出典）東北運輸局	32	33	増加	
東北6県における入込客数（百万人） （出典）各県観光統計	287	-	-	
環境条例、景観条例等設置数 （出典）観光資源評価Aランク以上、及び重要伝統的建築物保存地区の所在する市町村を対象に調査	環境 40 景観 19	環境 40 景観 21	増加	自然環境を損なうことなく自然のなかで体験し学び、地域の自然環境等の資源を持続的に保全しつつ、新たな観光需要を掘り起こすエコツーリズムを支援する。
-	-	-	-	
-	-	-	-	
観光ポータルサイトアクセス数 （出典）東北観光推進機構	1,514 (1-3月)	18,911 (4-12月)	増加	効果的なインターネット等による情報発信、高齢者や障害のある方等に配慮したバリアフリー化の推進等、関係機関と連携し取組を推進する。
鉄道駅における身体障害者用トイレ設置率(%) （出典）東北運輸局	57.0			
東北観光推進機構ポータルサイトアクセス数 （出典）東北観光推進機構	1,514 (1-3月)	18,911 (4-12月)	増加	
鉄道駅における身体障害者用トイレ設置率(%) （出典）東北運輸局	38.5			

表 「東北地方への来訪促進のための環境

項目		内容	平成20年度の主な実施施策
大目標	中目標	新たな観光旅行の分野の開拓	-
	施策	長期滞在型観光	・観光圏認定エリアを中心に連泊プランを推進 ・シニアサマーカレッジ、地域アカデミーの企画によりロングステイ促進
	施策	エコツーリズム	・東北各地でCO ₂ ゼロ旅行、森林ツアー、植樹ツアー実施
	施策	グリーン・ツーリズム	・農家民宿の開設支援、滞在型市民農園の開設支援等を実施 ・教育旅行を中心に農山漁村での体験と民宿企画を野外活動で提案
	施策	文化観光	・藤沢修平関連施設等のルート開発、日本海きらきら羽越観光圏協議会による「精神文化」を体験する取組 ・島崎藤村をテーマに藤村広場を整備し、まち歩きマップで紹介
	施策	産業観光	・日観協本部と宮城県栗原市との共催による「全国産業観光ワークショップ in くりはら」を実施 ・産業認定箇所について、観光産業の可能性の調査を実施
	施策	ヘルスツーリズム	・日観協本部と秋田県共催による「ヘルスツーリズム可能性調査モニターツアー」を実施 ・上北地域において、温泉、食事、森林浴、ウォーキング、乗馬、農業体験、自然観賞等を活かした観光サービス提供体制づくりを実施
	施策	その他のニューツーリズム	・フラワーツーリズムを推進してきた宮城県栗原市が「花の観光地づくり大賞」を受賞
	中目標	接遇の向上等	-
	施策	案内表示の充実等	・伊達な観光圏の事業として、39言語対応のコイン式インターネット端末を仙台市観光案内所に設置 ・携帯動画による観光情報の発信 ・まちナビプロジェクトの実施
施策	接客マナー講習会等	・山形観光アカデミーによる接遇基礎講座、接遇マナー研修会等の開催 ・タクシー協会において乗務員講習会を開催 ・外国人対応の受け入れセミナーの実施	
中目標	その他（観光旅行の安全・観光統計）	-	

整備」に関する施策進捗状況（その2）

評価結果（ 赤字：上昇(改善)、青字：下降(悪化)）				21年度の取組みの方向性		
アウトカム指標		平 19	平 20		傾向	
ニューツーリズム掲載の市町村、観光協会等ホームページ数 （出典）平成20年度アンケート			14		新たな旅行需要の創出により地域を活性化させる地域密着型のニューツーリズムの促進及び旅行商品の創出について支援していく。	
-		-	-			
-		-	-			
-		-	-			
-		-	-			
-		-	-			
-		-	-			
-		-	-			
行ってみたい温泉地ランクイン数 （出典）数字で見る観光		11			観光地の案内標識の整備促進、外国人観光客に対応可能なビジット・ジャパン案内所の充実、「訪日外国人受入接客研修会」開催による受入施設の拡大や接客マナーの向上等、受入れ態勢の整備促進を図る。	
印象のよかった温泉地ランクイン数 （出典）数字で見る観光		11				
にっぽんの温泉100選へのランクイン数 （出典）株式会社観光経済新聞社		16	19	増加		
東北6県における入込客数（百万人） （出典）各県観光統計		287	-	-		
東北6県における宿泊者数（百万人） （出典）宿泊旅行統計		29.1	-	-		
V案内所設置数 （出典）東北運輸局		32	33	増加		
接遇研修等実施数 （出典）平成20年度アンケート	実施数	530	540	増加		
	参加者延べ人数 （千人）	101	101	横ばい		
-		-	-			関係機関と連携し観光地における事故や災害に関する情報を迅速・正確に提供する。 全国共通基準による「観光入込客統計」「観光消費額統計」の平成22年度導入に向けた調査を支援する。